



# 川添 聖治氏

超高齢社会のピークを迎える2025年に向け、医療機能の分化と連携が進む中、地域住民のそばで質の高い医療サービスを提供しようと医療モール「メディカルモール・しろいし」が開設。モール内に開業する、なかふさ皮膚科クリニックの中房淳司院長、かわぞえ内科クリニックの川添聖治院長、調剤薬局と福祉用具のレンタルを行う大平の副島広幸代表取締役社長に、地域医療について、今後の課題などを聞きました。



# 中房 淳司氏



プロフィール  
1990年3月宮崎医科大学医学部卒業、同年5月宮崎医科大学医学部皮膚科学教室入局  
1998年7月佐賀医科大学医学部皮膚科教室入局 医局長 病棟医長 外来医長  
2005年6月国立病院機構佐賀病院皮膚科医長  
2007年4月国家公務員共済組合連合会佐世保共済病院皮膚科医長  
2008年4月なかふさ皮膚科クリニック開院  
2016年1月メディカルモール・しろいしへ移転  
(取得資格)日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士(乙種)  
日本臨床皮膚科医九州ブロック(運営委員・健保委員)

## 座談会

New Year Special discussion

# 地域医療のいまについて

### 定期的な診療、健康管理が地域病院の役割

**中尾** 団塊の世代が後期高齢者の75歳になる2025年に向け、質の高い医療サービスが求められるように、医療機能の分化・連携を進める「地域医療構想」が進められている。地域住民が、効率よく連続した質の良い医療を受けられるように、地域の病院と大病院との連携は進んでいると実感しています。病院に足を運べない方々のために、定期的な訪問診療ができるようになるのも、かかりつけ医が担っていく役割です。ただ皮膚科は人手不足で、訪問診療に手が回らないのが実情です。

**川添** 総合病院では一般外来の患者数を増やすには限界があり、定期的に通院するような病気の診療や健康管理は地域の病院が担っています。例えば地域の病院がもっと高度な医療が必要と判断した場合、専門的な治療や入院ができる大病院へ転院というような連携がますます進んでいくと思います。

### 超高齢社会の中、求められる地域医療

**中尾** 地域のチーム医療に大切なことは何でしょうか。

**中房** 皮膚科には難治性疾患の患者さんがたくさん来院されます。そのため治療には薬のみならず、言葉の処方が必要になります。患者さんの気持ちを感じ取らなければ治療内容が十分に伝えられなかったり、患者さんが治療を安心してすめられないことがあります。十分な治療効果からいうとスタッフ全員で、患者さんの言葉から何を希望しているかを共有できるチームワークが大事です。

**川添** 私の専門は肝臓ですが、前職の県医療センター好生館で行ってきたようなター

株式会社大平 代表取締役社長  
**副島 広幸氏**  
プロフィール  
1972年、佐賀県生まれ。  
2004年8月株式会社大平代表取締役社長に就任。  
介護福祉用品のレンタル・販売、また住宅改修を業務とする介護用品専門店(タイヘイM&C佐賀店・久留米営業所・福岡西営業所)、保険調剤薬局、医療経営コンサルティングを展開する。



**中尾** 地域住民がまず訪れる場所としてかかりつけ医の存在は大きいですが、中房 かかりつけ病院とかがかりつけ薬局が地域医療や介護の拠点として地域住民のそばにあることは、皆さんの安心につながると感じています。

**川添** 地域から大病院へという方向でなく、病状が回復したら地域の受け皿に戻ることになり、今後は、地域の中にある病院は非常に大切な存在になると思います。

**副島** 今年、国が「患者のための薬局ビジョン」を策定し、薬局のあり方も変わろうとしています。医療分業の原則に立ち返り、大病院前の門前薬局ではなく、患者さんや地域住民にとって本当に必要とされる、かかりつけ薬局を目指さうというものです。今後、専門知識を持つ薬剤師を常駐させて在宅医療など急なニーズにも対応できるよう、24時間体制で地域にしっかり溶け込み、信頼を得ることが必要だと思います。

を始められます。メディカルモール・しろいしを選ばれた理由は、

**中房** 地域医療に貢献したいという気持ちで7年前、白石町に開院しました。佐賀は交通機関が発達していないこともあって、多くの高齢者が自家用車で通院されます。安全に通院できる場所が必要と考えている時に、メディカルモールの話を聞き、移転を決定しました。

**川添** 白石町に医療モールができるのは理想的だと思いました。というのも今まで在籍していた好生館が佐賀市の西部に移転したことで、白石町、鹿島市、武雄市からのアクセスが非常によくなり、患者さんが増えたと感じます。鹿島市まで延びる有明海沿岸道路が白石町に開通すれば、さらにアクセスがよくなると思います。アクセスがよくなれば、武雄市や鹿島市、佐賀市内の中規模病院や大病院など連携病院の選択肢が広がりますし、家族の負担軽減につながります。

**中尾** 医療モールは自宅に近い場所で、駐車場が広く安全なことが第一条件になります。アクセスのよさも、医療連携が進む好条件になります。ですが、分野が異なる診療科が同じ敷地内に存在するメリットは、

**中房** 皮膚に症状が出たので皮膚科を受診したところ、内臓疾患ももたっている患者さんがいらつやいます。患者さんは、皮膚科と内科の治療をモール内でおこなうことができます。

**川添** 内科の病気が皮膚疾患患者に非常に関係が深いので、治療に伴って皮膚に症状が出ることもありますし、内臓から病気のシグナルが皮膚症状に出ることもあります。

ですから、そばに皮膚科があるのは心強いですが、中房先生は県内でも有数の皮膚科医ですから、より心強いです。

**中尾** 医療の効率化や連携を深めるためには医療モールは効果的です。副島社長は、8年前にメディカルモール・おき、今回はメディカルモール・しろいしをコーディネートしました。

**副島** メディカルモール・しろいしでは、川添先生の専門である肝がん治療の抗がん剤なども作れる無菌調剤室も完備します。服薬情報を一元的・継続的に管理し、薬物療法のことなど安心していつでも相談できるような薬局にしたいと思っています。

プロフィール  
1989年3月佐賀医科大学卒業  
1992年4月佐賀医科大学医学部大学院入学 1996年3月同大学院卒業  
1999年11月武蔵野赤十字病院消化器科医師 2000年6月佐賀医科大学内科医員  
2001年1月佐賀県立病院好生館 内科医長 2006年4月同肝胆膵内科部長  
2013年5月佐賀県医療センター好生館 肝胆膵内科部長  
2016年1月メディカルモール・しろいしに、かわぞえ内科クリニック開院  
(取得資格)医学博士(甲種)、日本内科学会認定内科指導医・専門医・認定医  
日本肝臓学会認定肝臓指導医・専門医、日本超音波医学会認定超音波指導医・専門医  
日本消化器病学会認定専門医、日本消化器内視鏡学会認定専門医  
がん治療認定医、日本消化器病学会九州支部会評議員、JMECC(内科救急認定医)

**中尾** 地域住民がまず訪れる場所としてかかりつけ医の存在は大きいですが、中房 かかりつけ病院とかがかりつけ薬局が地域医療や介護の拠点として地域住民のそばにあることは、皆さんの安心につながると感じています。

**川添** 地域から大病院へという方向でなく、病状が回復したら地域の受け皿に戻ることになり、今後は、地域の中にある病院は非常に大切な存在になると思います。

**副島** 今年、国が「患者のための薬局ビジョン」を策定し、薬局のあり方も変わろうとしています。医療分業の原則に立ち返り、大病院前の門前薬局ではなく、患者さんや地域住民にとって本当に必要とされる、かかりつけ薬局を目指さうというものです。今後、専門知識を持つ薬剤師を常駐させて在宅医療など急なニーズにも対応できるよう、24時間体制で地域にしっかり溶け込み、信頼を得ることが必要だと思います。

ゲットとなる病気が明確な専門的なチーム医療とは違うだろうと予想していました。クリニックでは多種多様な疾患を診ることになりますから、患者さんは、医師よりも看護師や受付などスタッフの方が話しやすいことがあると思います。スタッフが吐露した患者さんの思いが、医師にも確実に伝わることが地域のチーム医療では大事だと思っています。そういう意味でもスタッフの教育は大切です。

**副島** お二人がおっしゃるように、患者さんとの関わり方は地域の中にある医療機関薬局にはとても大切なことで、私たちも患者さんや地域の方に選んでいただけるように、「コミュニケーション能力を高めるなど人材教育をしていく必要がある」と思います。

**メディカルモール・しろいし開設。アクセスのよさが質の良い医療連携に**

**中尾** 複数の医療施設と調剤薬局が集まった医療モール「メディカルモール・しろいし」がオープンします。先生方はここで診療

**中尾** 今後の抱負は、

**中房** 皮膚科は地域のニーズが高いのですが、皮膚科医が少なく、マンパワーが足りません。複数の皮膚科医で診療を行うことができれば、



(聞き手)佐賀新聞社社長  
なかお せいいちろう  
**中尾 清一郎**

### メディカルモール・しろいし概要



- 所在地/佐賀県杵島郡白石町福吉1836番地
- 総面積/8,000㎡
- 総駐車台数/200台
- 設置病院  
(皮膚科)なかふさ皮膚科クリニック  
(内科)かわぞえ内科クリニック
- 設置薬局  
タイヘイ薬局メディカルモール・しろいし店

### なかふさ皮膚科クリニック

- 診療科目 皮膚科
- 医師 院長 中房 淳司
- T E L 0952-74-5788
- F A X 0952-74-5789

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 8:00~12:30  | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 14:00~18:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

### かわぞえ内科クリニック

- 診療科目 一般内科・肝臓・消化器
- 医師 院長 川添 聖治
- T E L 0952-37-5593
- F A X 0952-37-5893

| 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 8:30~12:30  | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 14:00~18:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |



タイヘイ薬局メディカルモール・しろいし店

- TEL 0952-71-5115
- FAX 0952-84-5353
- ホームページ <http://www.taihei-group.jp>
- 店休日 日曜・祝日

| 営業時間             |
|------------------|
| 月~金曜日 8:00~18:00 |
| 土曜日 8:00~17:00   |



メディカルモール・しろいし